



2019年7月29日

各位

会社名 大日本住友製薬株式会社
 代表者名 代表取締役社長 野村 博
 (コード: 4506 東証第1部)
 問合せ先 執行役員
 コーポレートコミュニケーション担当 樋口 敦子
 (大阪: TEL. 06-6203-1407)
 (東京: TEL. 03-5159-3300)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2019年5月10日に公表した2020年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日~2019年9月30日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	四半期利益	親会社の所有者 に帰属する 四半期利益	基本的 1株当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	226,500	38,500	34,500	25,000	25,000	62.93
今回修正予想(B)	228,500	39,500	56,000	22,000	22,000	55.37
増減額(B-A)	2,000	1,000	21,500	△3,000	△3,000	—
増減率(%)	0.9	2.6	62.3	△12.0	△12.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	226,155	37,151	29,607	27,869	27,869	70.15

2. 2020年3月期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	460,000	77,000	69,000	49,000	49,000	123.33
今回修正予想(B)	475,000	77,000	88,000	36,000	36,000	90.61
増減額(B-A)	15,000	—	19,000	△13,000	△13,000	—
増減率(%)	3.3	—	27.5	△26.5	△26.5	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	459,267	77,299	57,884	48,627	48,627	122.39

(注)コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

3. 修正の理由

売上収益は、日本セグメントにおいて、ノバルティスファーマ株式会社が販売中の 2 型糖尿病治療薬「エクア錠 50mg」および「エクメット配合錠 LD/HD」の販売提携開始により増収が見込まれることや、中国セグメントが好調であることから、前回発表予想に対して、第 2 四半期連結累計期間は 20 億円増の 2,285 億円、通期は 150 億円増の 4,750 億円に修正しました。コア営業利益は、第 2 四半期連結累計期間では前回発表予想を 10 億円上回る見込みですが、売上原価や販売関連費用の増加が見込まれることから、通期では前回発表予想を変更していません。

営業利益は、抗がん剤として開発中のナパブカシンの膀胱がんを対象としたフェーズ 3 試験の中止により、条件付対価公正価値の変動額が費用の戻入となる見込みであることから、前回発表予想に対して、第 2 四半期連結累計期間は 215 億円増の 560 億円、通期は 190 億円増の 880 億円に修正しました。

当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は、ナパブカシンの上記試験の中止に伴い、米国で計上していた繰延税金資産の取り崩し等により、法人所得税が増加する見込みであることから、前回発表予想に対して、第 2 四半期連結累計期間は 30 億円減の 220 億円、通期は 130 億円減の 360 億円に修正しました。

(注) 本プレスリリースに含まれる将来の予測等に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。したがって、業績・その他の将来の予測等に関する事項は、今後さまざまな要因によって本リリースの記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上